

【C年】

降臨節前主日（特定二十九）

永遠にいます全能の神よ、あなたのみ旨は、王の王、主の主であるみ子にあって、すべてのものを回復されることにあります。どうかこの世の人びとが、み恵みにより、み子の最も慈しみ深い支配のもとで、解放され、また、共に集められますように、父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書はエレミヤ書第二十三章一節から」

1 「災いだ、わたしの牧場の羊の群れを滅ぼし散らす牧者たちは」と主は言われる。2 それゆえ、イスラエルの神、主

はわたしの民を牧する牧者たちについて、こう言われる。

「あなたたちは、わたしの羊の群れを散らし、追い払うばかりで、顧みることをしなかった。わたしはあなたたちの悪い行いを罰する」と主は言われる。

3 「このわたしが、群れの残った羊を、追いやったあらゆる国々から集め、もとの牧場に帰らせる。群れは子を産み、数を増やす。4 彼らを牧する牧者をわたしは立てる。群れはもはや恐れることも、おびえることもなく、また迷い出ることもない」と主は言われる。

5 見よ、このような日が来る、と主は言われる。

わたしはダビデのために正しい若枝を起こす。

王は治め、栄え

この国に正義と恵みの業を行う。

6 彼の代にユダは救われ

イスラエルは安らかに住む。

彼の名は、「主は我らの救い」と呼ばれる。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第二三編

- 1 主はわたしの牧者＝ わたしは乏しいことがない
- 2 神はわたしを緑の牧場に伏させ＝ 憩いの水辺に伴われる
- 3 神はわたしの魂を生き返らせ＝ み名のゆえにわたしを正しい道に導かれる
- 4 たとえ死の陰の谷を歩んでも、わたしは災いを恐れな
い＝ あなたがわたしとともにおられ、あなたの鞭と杖
はわたしを導く
- 5 あなたは敵のしている前でわたしのために食卓を整え
＝ わたしの頭に油を注ぎ、わたしの杯を満たされ
る
- 6 神の恵みと慈しみは、生きている限り、わたしに伴い
＝ わたしは永遠に主の家に住む

使徒書

朗読者 「使徒書はコロサイの信徒への手紙第一章十一節

から」

11 そして、神の栄光の力に従い、あらゆる力によって強められ、どんなことも根気強く耐え忍ぶように。喜びをもつ

て、¹² 光の中にある聖なる者たちの相続分に、あなたがた
があげられるようにしてください。御父に感謝するように。
¹³ 御父は、わたしたちを闇の力から救い出して、その愛す
る御子の支配下に移してくださいました。¹⁴ わたしたちは、
この御子によって、贖い、すなわち罪の赦しを得ているの
です。¹⁵ 御子は、見えない神の姿であり、すべてのものが造
られる前に生まれた方です。¹⁶ 天にあるものも地にあるも
のも、見えるものも見えないものも、王座も主権も、支配も
権威も、万物は御子において造られたからです。つまり、万物
は御子によって、御子のために造られました。¹⁷ 御子はす
べてのものよりも先におられ、すべてのものは御子によって
支えられています。¹⁸ また、御子はその体である教会の頭
です。御子は初めの者、死者の中から最初に生まれた方です。
こうして、すべてのことにおいて第一の者となられたのです。
¹⁹ 神は、御子のままに、満ちあふれるものを余すところな
く御子の内に宿らせ、²⁰ その十字架の血によって平和を
打ち立て、地にあるものであれ、天にあるものであれ、万物
をただ御子によって、御自分と和解させられました。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。

（二）で聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖ルカによる福音書第二十三章三十五節以下に記

された主イエス・キリストの福音。 主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

35 民衆は立つて見つめていた。議員たちも、あざ笑って言った。「他人を救ったのだ。もし神からのメシアで、選ばれた者なら、自分を救うがよい。」36 兵士たちもイエスに近寄り、酸いぶどう酒を突きつけながら侮辱して、37 言った。「お前がユダヤ人の王なら、自分を救ってみろ。」38 イエスの頭の上には、「これはユダヤ人の王」と書いた札も掲げてあった。

39 十字架にかけられていた犯罪人の一人が、イエスをののしった。「お前はメシアではないか。自分自身と我々を救ってみろ。」40 すると、もう一人の方がたしなめた。「お前は神をも恐れないのか、同じ刑罰を受けているのに。」41 我々は、自分のやったことの報いを受けているのだから、当然だ。しかし、この方は何も悪いことをしていない。」42 そして、「イエスよ、あなたの御国においてになるときには、わたしを思い出してください」と言った。43 するとイエスは、「はつきり言うておくれが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる」と言われた。

司祭 「主に感謝」
会衆 「主に感謝します」